
新ケミカル商事、トルコ共和国／廃プラスチックの
コークス炉ケミカルリサイクル実現可能性調査が、
経済産業省の令和 7 年度補正
グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（FS 事業）に採択

新ケミカル商事株式会社（福岡県北九州市、代表取締役社長執行役員：上田幸二郎）は、2026 年 6 月 30 日、トルコ共和国／廃プラスチックのコークス炉ケミカルリサイクル実現可能性調査事業が、経済産業省の令和 7 年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（FS 事業）に採択されたことをお知らせします。

このたび採択された事業は、トルコ共和国における廃プラスチック問題に対し、同国製鉄所のコークス炉を活用し、再資源化するケミカルリサイクル事業の実現可能性を検討することを目的としています。

＊ 令和 7 年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金

（小規模実証・FS 事業）特設ホームページ

<https://r7h-gs-hojo-web-fspoc.jp/>

中国による廃プラスチック輸入規制以降、欧州から大量の廃プラスチックがトルコへ輸出されるようになりました。しかし、受入れ量の急増に対して適切な処理体制の整備が追いつかず、一部では不法投棄や野焼きが指摘され、土壌や海洋汚染などの環境影響が懸念されています。この状況は、リサイクルを目的に輸出された廃プラスチックであっても、必ずしも適切に再資源化されているとは限らない、という課題を示しています。

こうした状況を受け、トルコ政府は「ゼロ・ウェイスト戦略」を掲げ、廃プラスチックの適正処理と再資源化、関連技術の導入を進めています。

新ケミカル商事は、当社グループ独自のプラスチック再資源化技術を通じて、廃プラスチックを再生原料として活用するソリューションを提供しています。本調査では、この技術と知見を活かし、トルコの製鉄所が保有するコークス炉を活用した廃プラスチックのケミカルリサイクル事業について、実現可能性を検討します。

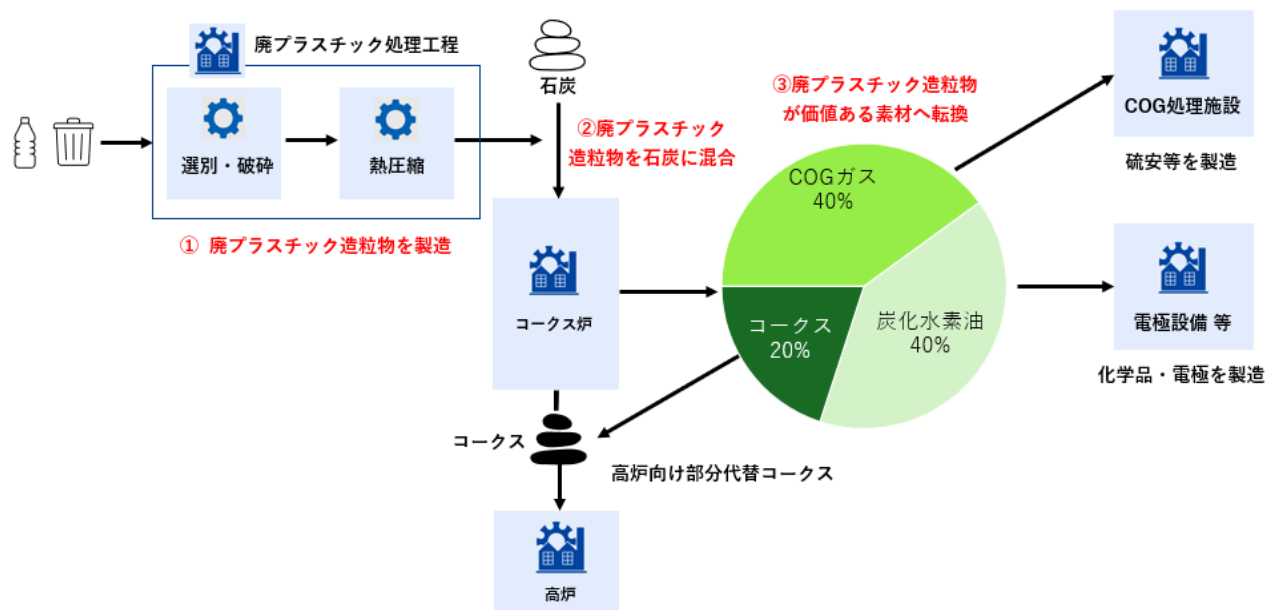
■事業概要

独自の廃プラスチック処理工程により、マテリアルサイクルが困難な低品位・混合廃プラスチックから、コークス炉ガスやコークス代替品を回収し、廃プラスチックの適正処理や事業採算性について検証します。

また、廃プラスチックの処理工程で製造した造粒物をコークス原料炭の代替として活用することで、製鉄工程におけるCO₂排出量の削減効果が見込まれます。

本調査では、事業化に向けた重要な要素である廃プラスチックの調達について、重点的に検証します。関連するステークホルダーと連携しながら、廃プラスチックの調達ルートの構築、実施体制の検討、収益性の評価などを行います。

新ケミカル商事は、本調査で得られた知見を活用し、トルコでの事業化に加え、同様の課題を抱える国や地域への展開も視野に入れています。今後も、資源循環の推進と鉄鋼業におけるCO₂排出量の削減に資する技術・事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



■会社概要

会社名：新ケミカル商事株式会社

設立：2004 年 8 月 1 日

本店所在地：福岡県北九州市小倉北区京町三丁目 1 番 1 号

代表者：代表取締役社長執行役員 上田幸二郎

事業内容：化学品・製鉄関連・樹脂・建材・アグリの 5 つの分野で事業を展開する専門商社

公式サイト：<https://www.nctcl.co.jp/>

― 本件に関するお問い合わせ先 ―

新ケミカル商事株式会社

企画部 広報グループ（担当：齋藤・岡）

メール：nct-koho@nctcl.co.jp

電話：03-5297-7871